

並滝自然体験学習会 五感で楽しむ里山の 12ヶ月

里山通信

第 80 号
2016.5



今年は季節が、いつもより二週間ぐらい早く移っているように感じます。おかげで「くじら農園」のイチゴも少しずつ食べられるようになり（通常は早くても二十日過ぎ）、子どもたちにも一つずつおすそ分けできました。

今日は畑三昧。午前中「くじら農園」に野菜の苗を植え、午後は薬草園づくりの続きをしました。畑仕事の合間に草花や果樹の観察もしました。しっかりと働いた後のいちごどら焼きは、さぞおいしかったことでしょう。



おいしい顔ってこんな顔

野菜の苗植え



自然観察



薬草園づくり



くじら農園にさつま芋（紅はるか）とナスの苗を植えてたっぷり水をあげました。さつま芋はつるの部分に芋ができます。つるの大部分が土の中に埋まるよう、横に寝かせて植えてくれたかな？ 苗植えが早く終わったので玉ねぎ畑の草取りをしてから、くじら農園に生えている草花や子果樹園に植えている果樹を見たり、葉っぱを味わったりしました。薬草園づくりでは、先月土を運んで入れた畑に牛糞（子どもたちにはチョコレートブラウニーに見えるらしい）を入れ、土と混ぜ合わせました。さつま芋の苗があまったので、とりあえず薬草園にも植えました。

今月の子料理



お昼ごはんは春巻きラザニアと野菜スープ、おやつはいちごどら焼きを作りました。

ラザニアのホワイトソースは牛乳と米粉、ミートソースはいつものピザソースにひき肉とケチャップを加えて作りました。ごはんと一緒に食べるので、お米にカレー粉を加えて焚きました。野菜スープには、玉ねぎ、ジャガイモ、ニンジン、キャベツをたっぷり入れました。いちごどら焼きは5月の定番おやつ。出来栄も年々良くなっています。